

日本の海外移民 その2

— 特別資料室 移民関係資料から —

平成2年7月23日(月)～8月3日(金)

今回は、「日本の海外移民 その2」として、特別資料室所管資料からご紹介します。

現在当館では、明治以来の日系移民に関する資料の収集に努めています。収集した資料は、特別資料室(本館4階)で「移民資料コレクション」としてご覧いただけます。

その一つに、「派遣職員収集日系移民資料コレクション」があります。昭和59年度以後、中南米を対象に職員を派遣して、世代交代が進み散逸の危機にさらされている海外移民資料の現地での収集活動に当たっています。収集した資料は、図書・雑誌・新聞のほか、日記・手紙・各種書類・聞き取りカセット等広範囲に及んでいます。そのうち、図書約1,300冊を、現在特別資料室に開架しております。

今回は、この中から、ブラジル、ペルー、アルゼンチンに焦点を当てて展示しております。

展示資料リスト

1. ブラジル邦人人名録

進藤憲吉・山下寛人編・刊

サンパウロ 1959 767p

<移(一)-101>

2. パウリスタ年鑑 「パウリスタ新聞」1950年新年号付録

サンパウロ パウリスタ新聞社 1950 524p

<移(二)-Z207>

3. 在ペルー邦人75年の歩み ～ 1899年－1974年 ～

リマ ペルー新報社 1974 244, 53p

<移(一)-279>

4. 南米秘露及暮利比亜写真帖

